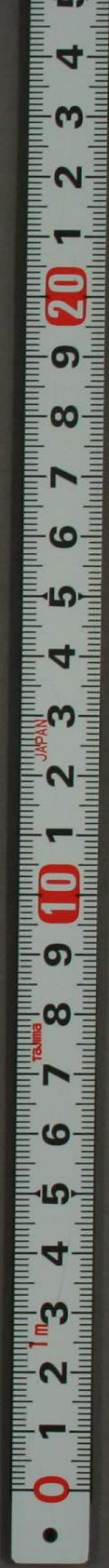


西洋事情

ル 2  
2985  
2





九段 1  
1738  
2



ル 2  
2985  
2

西洋事情卷之二

亞米利加合衆國

史記

福澤諭吉 纂輯

千四百九十二年西班牙ノ船將瀾籠亞米利加國ヲ  
發見セシヨリ爾後歐羅巴各國ノ政府並ニ商社其  
轍ニ效ヒ單テ船艦ヲ遣リ諸方ヲ探索シテ便利ナ  
ル地方ヲ發見スレハ隨テ人民ヲ移シ其地ヲ本國  
ノ所領トナセリ千七百六十年ノ頃今ノ合衆國ノ  
地英國ノ所轄ニ屬スルモノ十三州アリ千七百六



十五年英國議事院ノ定議ニテ九十三州ノ内ニ用  
ユル物品ハ盡ク其證印稅ヲ取ルヘシト法令ヲ下  
シタリ此法令ハ各州ノ服セサル所ニテ速ニ廢シ  
タレ其後又種々苛刻ノ法ヲ立テ、收斂シ州民  
之ニ堪ハスシテ屢愁訴スレ用ヒラレス失望ノ  
餘リ州内一般ノ利益ヲ謀ルトテ各州ヨリ人物ヲ  
推舉シテ十七百七十四年第九月四日フレデル石  
ヤニ會同シ種々商議ヲ盡シテ英國政府ノ公平ナ  
ル處置ヲ得ント願訴シタレ其更ニ之ヲ聽カス却  
テ益暴威ヲ張り且政府ノ法令ヲ拒ムモノハ威力

ヲ以テ之ヲ壓伏スヘシトテ本國ヨリ兵ヲ送リタ  
リ此勢ニテ州民政府ノ命ニ背ケハ戰ハサルヲ得  
ス命ニ從ヘハ苛刻ノ法ニ束縛サレテ終身奴隸ト  
為ラサルヲ得ス戰和ノ兩議且夕ニ迫リタレ其  
心ノ向フ所遂ニ戰議ニ決シテ竊ニコンコルドニ  
武器ヲ集メリ于時千七百七十五年第四月ナリ英  
國ノ將軍ゲージ之ヲ聞キ同月十九日指揮官ピト  
ケールンヲシテ一隊ノ兵ヲ卒ヒテコンコルドニ  
向ハシメシニ途中レキシントニニ於テ武器ヲ携  
ヘタル者ヲ見タリ依テ命ヲ下シ其武器ヲ置カシ



ノントシタレハ聽カス乃チ之ニ放發シテ數人ヲ  
殺シ又「コンコルド」ニテモ戰鬪シテ双方死傷多シ  
之ヲ血戰ノ初トシ遂ニ數年ノ騷乱ニ及ヘリ○コ  
ノ片日未タ暮レス近傍ノ寺院ニテ一時ニ鐘ヲ鳴  
ラシ此合圖ニ從テ衆民皆武器ヲ携ヘ「ボーストン」  
ニ集マルモノ百ヲ以テ計フ第六月十七日「ブレンケ  
ル」山ノ戰ハ亞米利加人千五百人英ノ兵三千人ト  
接戰シ三度ヒ敵ヲ退ケタレハ遂ニ我兵利ナクシ  
テ「チャルストン」ニ引キタリ此時ニ我勇將「ワルレン  
戰死セリ總計亞人ノ戰死四百五十人英人ヲ殺ス

「千人餘ナリ「ブレンケル」山ノ戰爭後華盛頓ヲ推シ  
テ總督將軍ト為シ「ボーストン」ニ會同セル議事官  
並ニ兵卒ヲ名ケテ大州ノ軍勢ト稱セリ第七月一  
日ヨリ華盛頓總軍ノ指揮ヲ司リ先ツ「ボーストン」  
ニ赴キ翌年第三月英國ノ將軍「ホーウ」ガ「ボースト  
ン」ヲ去テヨリ其近傍ニ敵國ノ兵ナシ○「レキシ  
ン」及ヒ「ブレンケル」山ノ合戰ニテ人心益意ヲ決シ  
テ防戰セントシ遇キ七百七十六年ノ春英國王ヨ  
リ命ヲ下シ亞米利加人ヲ征スルニ付テハ劇烈ノ  
力ヲ盡シテ之ヲ制壓スヘシトノ報告アリシヨリ



諸州一般之奮激シテ合衆獨立ノ意ヲ生シ第六  
 月九日會同協議シテ合衆諸州ハ同ヨリ獨立スル  
 ノ理ヲ以テ獨立シ、英國ト交ヲ絶チ、英國ノ支配ヲ  
 受ケス、固ヨリ之ト離別スルノ理ヲ以テ之ト離別  
 スルトノ大論ヲ發シ次テ獨立ノ檄文ヲ作ルタメ  
 ゼツズルソン、アダムス、フランキン、シエルマン、ライ  
 井ントンノ五人ヲ推テ作文ノ職ニ任シ第六月二  
 十八日ゼツズルソン草稿ヲ起シテ之ヲ評議所ニ出  
 シ第七月一日マテ机上ニ置キ五名ノ人ニテ増補  
 刪正シテ其文ヲ定メ各州ノ名代人ニ示セシニ之

ニ同意スルモノ九州之ヲ拒ムモノ二州アリ依テ  
 又衆人一般ニ商議シタレバ獨立ノ議ニ左祖スル  
 モノ多ク加之第七月四日ニ至テ諸方ヨリ獨立ノ  
 論ヲ唱フルモノ蜂起雲集シ遂ニ十三州同意一定  
 シテ獨立不羈ノ國ト稱シ爾後益兵ヲ募リ英ノ兵  
 ト戰テ互ニ勝敗アリ又千七百七十八年第二月佛  
 蘭西ト條約ヲ結テヨリ防戰ノ助力ヲ得タリ○騷  
 乱ノ初ヨリ七年ノ間二十九戰シ或ハ勝チ或ハ敗  
 シ千七百八十一年ヨリクタクランノ一戰ヲ以テ事  
 ヲ終レリ此戰ハ第十月十九日華盛頓一萬六千ノ



兵ヲ指揮シ英國ノ將軍コルンワリスト接戦シテ  
大ニ勝テ敵兵五百五十人ヲ殺傷シ七千二百四十  
七人ヲ生捕リコルンワリスモ降参シタリ此ヨリ  
英軍カヲ失テ遂ニ和睦ヲ議シ千七百八十三年第  
一月二十日仮條約ヲ結ヒ翌年第九月三日本條約  
ヲ取り替シ合衆國ノ不羈獨立ヲ周ク布告シタリ

千七百七十六年第七月四日亞米利加

十王州獨立ノ檄文

人生已ムヲ得サルノ時運ニテ一族ノ人民他國  
ノ政治ヲ離レ物理天道ノ自然ニ從テ世界中ノ

萬國ト同列シ別ニ一國ヲ建ルノ時ニ至テハ其  
建國スル所以ノ原因ヲ述ヘ人心ヲ察シテ之ニ  
布告セザルヲ得ス

天ノ人ヲ生スルハ億兆皆同一轍ニテ之ニ附與  
スルニ動カス可カラサルノ通義ヲ以テス即其  
通義トハ人ノ自カラ生命ヲ保シ自由ヲ求メ幸  
福ヲ祈ルノ類ニテ他ヨリ之ヲ如何トモス可ラ  
サルモノナリ人間ニ政府ヲ立ル所以ハ此通義  
ヲ固クスルタメノ趣旨ニテ政府ヲランモノハ  
其臣民ニ満足ヲ得セシメ初テ眞ニ權威アルト



云フヘシ政府ノ處置此趣旨ニ戾ルキハ則之ヲ  
 變革シ或ハ之ヲ倒シテ更ニ此大趣旨ニ基キ人  
 ノ安全幸福ヲ保ツヘキ新政府ヲ立ルモ亦人民  
 ノ通義ナリ是余輩ノ辯論ヲ俟タスシテ明了ナ  
 ルヘシ○因循姑息ノ意ヲ以テ考フレハ舊來ノ  
 政府ハ一旦輕卒ノ舉動ニテ變シ難シト思フヘ  
 シ然レモ同一ノ人民ヲ目的ト爲シテ強奪ヲ恣  
 ニシ俗ヲ改メシメスハ遂ニハ自主自裁ノ  
 特權ヲ以テ國內ヲ惱マスニ至ルヘシ故ニ斯ノ  
 如キ政府ヲ廢却シテ後來ノ安全ヲ固クスルハ

人ノ通義ナリ亦人ノ職掌ナリ○方今我諸州正  
 シク此ノ難ニ羅レルカ故ニ政府舊來ノ法ヲ變  
 革スルハ諸州一般止ムヲ得サルノ急務ナリ英  
 國王ノ行ヒテ論スレハ不仁慘酷ノ他ニ記スヘ  
 キモノナク專ラ暴政ヲ以テ我諸州ヲ抑壓セリ  
 今其事實ヲ救擧シ之ヲ世界ニ布告シテ其明論  
 ヲ待ツヘシ  
 英國王世上一般ノ利益ノ夕メ欠ク可ラサルノ  
 良法ヲ採用セス○急要ノ事件指起ルル其土地  
 ノ奉行ニテ法ヲ立ントスルモ英國王之ヲ禁シ



テ王ノ免許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ施行セシメ  
ス加之斯ク其施行ヲ禁シ王ハ自カラ之ヲ忘却  
シテ意ヲ用ユルヲナシ○英國王州内一般ニ的  
當セル法令ヲ施スヲ拒ミ其人民ヲシテ國法  
ヲ會議セシムルノ通義ヲ破レリ此通義ハ人民  
ニ於テハ甚ク貴重ニシテ暴政ヲ行ハントスル  
者ノ恐ル所ナリ○英國王其國法ヲ會議スル  
場所ヲ不都合ナル遠地ニ設ケテ人民ノ議論ヲ  
避ルハ人ヲシテ奔走ニ疲レ余議ナク其法ニ從  
ハシメント欲スルナリ○英國王果斷ヲ以テ人

民ノ通義ヲ破ラント欲シ屢國民ノ會議局ヲ廢  
シタリ○英國王此會議局ヲ廢シテ更ニ再建ヲ  
拒ミ之ニ由テ國政ヲ議スルノ權ハ自カラ國民  
ニ歸シ其本國ハ内外ノ危害ヲ蒙ルニ至レリ○  
英國王我諸州ニ人口ノ繁殖スルヲ妨ケント欲  
シ外人歸化ノ法ヲ廢シテ其移住ヲ禁シ土地分  
配ノ新法ヲ立タリ○英國王此國ニ裁判ノ權ヲ  
附與スルヲ拒テ裁判局ヲ廢シタリ○英國王特  
權ヲ恣ニシテ官爵ヲ與奪シ俸祿ヲ増減セリ○  
英國王新ニ官吏ヲ命シテ此國ニ送り國內ニ群



集シテ我州民ヲ煩ハシメ我州民ノ膏血ヲ竭サ  
シメタリ○英國王我輩ノ衆議ニ戻テ無事ノ時  
モ州内ニ常備兵ヲ設ケタリ○英國王文武兩局  
ヲ別チ武局ヲ以テ文局ノ右ニ置タリ○英國王  
我法律ニ戻リ我政治ニ異ナル一殊ノ政ヲ以テ  
我人民ヲ制伏セント欲シ徒黨ヲ結テ其黨ノ議  
定シタル偽法ヲ許シタリ○蓋シ其趣旨ヲ察ス  
ルニ斯ノ如クシテ我國內ニ大兵ヲ送ラントス  
ル為ナリ大兵ヲ送テ我州民ヲ殺害スルトモ空  
論ヲ述テ其罪ヲ遁レントスル為ナリ我國ト世

界中トノ貿易ヲ絶ントスル為ナリ我州民ノ承  
服セサル賦稅ヲ收斂セントスル為ナリ我輩ヲ  
海外ニ送テ妄ニ害ヲ加ヘントスル為ナリ我近  
傍ニ一州ノ地ヲ占其州内ニ元來英國寬裕ノ法  
律ヲ廢シテ自主自裁ノ政ヲ施シ漸ク其境堺ヲ  
廣メテ遂ニ其例ヲ以テ我諸州ヲヒ獨裁ノ政治  
ニ屬セントスル為ナリ我州民ノ自カラ法令ヲ  
議定スヘキ權ヲ棄却シテ國王ノ徒黨ヨリ我輩  
ヲ制スルノ權柄ヲ執ルトテ之ヲ一般ニ布告セ  
ントスル為ナリ○英國王ハ我州民ノ保護ヲ廢



シ我諸州ニ向テ師ヲ遣リタルニ由テ自カラ此  
諸州ヲ支配スルノ權ヲ棄タルナリ○英國王我  
近海ヲ掠ノ我海岸ニ寇シ我都府ヲ燒キ我人民  
ノ命ヲ害セリ○英國王殺人滅國ノ暴政ヲ遂ケ  
ント欲シ方今ハ外國ノ大兵ヲ雇テ我國ニ送り  
タリ其不義慘酷往古ノ夷狄ト雖モ為サル所ニ  
テ豈文明ノ世ニ出テ人ノ上ニ立ツ者ノ舉動ナ  
ラニヤ○英國王洋中ニ於テ我國人ヲ捕ヘ強テ  
之ニ武器ヲ與ヘ其本國ニ向テ其親戚朋友ヲ伐  
タシメントセリ○英國王我諸州ニ内亂ヲ起サ

シメテ我州内ノ人民ヲ印度ノ野人ト同様ニ御  
セント欲スレモ印度人殺伐不仁ノ戰ト之ヲ同  
日ニ論ス可ケンヤ  
苛刻ノ法令ヲ出ヌ毎ニ余輩言ヲ身ヲシ謹テ願  
訴シタレモ嘗テ之ヲ聽カス隨テ願訴スレハ隨  
テ之ニ報ユルニ慘毒ヲ以テシ一令出ル毎ニ其  
暴政タルヲ證スルニ足レリ斯ノ如キ暴君ハ自  
由寛裕ナル人民ノ上ニ置ク可ラズ  
又我輩我本國タル英國ノ人民ニモ注意セサル  
ニ非ラス英國ノ人民カ法ヲ議シテ非道ノ政治



我諸州ニ加フルコトニ付テハ我輩屢之ニ忠告  
 シ昔我輩ノ英國ヲ去テ此國ニ移住セシ片ノ景  
 況ヲモ述ヘ英國人一般ノ正論ヲ請ヒ或ハ骨肉  
 ノ縁ヲ以テ懇談シ斯ク暴政ヲ行ヒテハ遂ニハ  
 双方ノ交際モ絶ユヘキカ故ニ之ヲ辯論周旋ス  
 ヘシト反覆請求シタレト英國人民モ共ニ是レ  
 聾盲ニシテ嘗テ之カ為正論ヲ唱ヘヌ又骨肉ノ  
 縁ヲモ顧ミス故ニ我輩止ムヲ得スシテ交ヲ絶  
 テ英人ヲ見レテ猶他國人ヲ待遇スルノ如クシ  
 テ戰ニハ之ヲ敵トシ太平ニハ之ヲ友トスヘシ

決意シタリ  
 故ニ亞米利加合衆國ノ名代人タル我輩其論說  
 ノ正否ヲ世界中ノ公評ニ質サンカ為コトニ會  
 同シテ州内良民ノ名ニ代リ州内良民ノ權ヲ藉  
 リ謹テ次件ヲ布告ス合衆諸州ハ固ヨリ獨立ス  
 ルノ理ヲ以テ獨立シ英國ト交ヲ絶テ英國ノ支  
 配ヲ受ケス固ヨリ之ト離別スルノ理ヲ以テ之  
 ト離別シ且既ニ不羈獨立ノ國ト為リタルカ故  
 ニ或ハ師ヲ出シ或ハ和睦ヲ議シ或ハ條約ヲ結  
 ビ或ハ貿易ヲ為ス等都テ獨立國ニテ行フヘキ



事件ハ我國ニ於テモ之ヲ施行スルノ全權アリ  
○右布告ノ趣旨ハ余輩天道ノ扶助ヲ固ク信シ  
テ幸福ト榮名ヲ此一舉ニ期シ死ヲ以テ之ヲ守  
ルモノナリ

十三州ノ名代人四十八名調印

合衆國獨立ヲ布告シテヨリ以來専ラ國內一般ノ  
利益ヲ謀リ同盟ノ定議ヲ以テ國法トナシタレバ  
多年ノ干戈初テ止テ全國太平ニ歸シ後テ貿易商  
賣諸術工業モ舊ニ復スルニ付テハ其法律不便ノ  
アルヲ以テ千七百八十七年第五月諸州名代

人ニシレデルモヤニ會シテ國政ヲ定メリ即今ノ合  
衆政治ナリ又華盛頓ハ騷乱ノ初期ヨリ亞米利加  
ノ兵ヲ指揮シタル人物ナルヲ以テ之ヲ推テ大統  
領トナシ千七百八十九年第四月三十日ニエリヨル  
クニ於テ統領ノ職ニ任シタリ○華盛頓職ニ任シ  
テヨリ國用ヲ節シ賦稅ヲ平ニシ國內ノ經濟ヲ脩  
メテ富國ノ基ヲ立テ外國ノ交際ヲ厚クシテ信義  
ヲ失ハス此時ニ當テ歐羅巴ノ諸國ニ爭戰アリシ  
カ氏合衆國ハ固ク中立ヲ守リ嘗テ之ニ關係セシ  
トシ在職八年ノ間内外無事ニシテエルモント



グンチツキテンモントノ三州合衆國ノ版圖ニ歸  
シタリ○千七百九十七年華盛頓職ヲ辞シジョン  
クハス代テ大統領ニ任シタリ是ヨリ先キ我政府  
外國トノ交際ニ中立ヲ守テ他國ヲ助ケサルヲ以  
テ佛蘭西人之ヲ憤リ合衆國ノ貿易ヲ妨ケ或ハ兵  
ヲ舉テ來リ攻ントスルノ勢アリ是ニ於テ大統領  
アダハス陸軍ヲ備ヘ海軍ヲ増シ華盛頓ヲ以テ陸  
軍ノ總督ニ命シタレ其後華盛頓ハ病死シ且又  
幸ニシテ佛蘭西ノ事モ平キタリ千八百一年アダ  
ハス職ヲ去リビツスルケン代テ大統領ト為リ其後

佛蘭西ト約束ヲ定メ千五百萬ドルヲ佛ニ與  
ヘテ其領地ロイヤル州ヲ合衆國ニ并セタリ○  
ヤツスルソシニ在職ノ間盛大ノ政ヲ施シ貿易ヲ勉  
外交ヲ脩メ合衆國ノ威名歐羅巴諸國ニ轟クニ至  
リ然ル所先キニ亞米利加騷亂ノ時英人屢大敗  
ヲ取テ既ニ其勇氣ヲ失ヒ加之建國ノ後ハ亞米利  
加ノ貿易次第ニ盛ナルヲ見テ嫉妬ノ意ヲ生シ力  
ヲ以テ敵對スルヲ能ハサレ其竊ニ之ヲ忿怒シテ  
屢亞米利加人ヲ凌辱セルヲアリ亞人之ニ堪ヘス  
遂ニ千八百十二年大統領ワシントン在職ノ時ニ至



西洋事情 卷之三

テ兵ヲ舉テ英國ト戦ヒ千八百十五年再ヒ和睦シ  
テ條約ヲ結ヒタリ此戦争ニテ合衆國ノ軍費九一  
億ドルラル兵士ヲ失フ一三萬人許ナリ英國トノ  
戦争終ラントスルノ時ニ當テアルゼリイ國地ノ  
南岸ニアル亞非利加州ノ一國ノ海賊亞米利加ノ  
ニテ後佛蘭西ノ所領トナレリノ貿易ヲ妨ハル  
貿易ヲ妨ハル商船ヲ掠奪シタルニ付千八百十五  
年第五月水師提督「デカチュール」軍艦ヲ率ヒテ地中  
海ニ入りアルゼリイ國ノ罪ヲ討シタリシニ不日  
ニシテ罪ニ伏シ償金ヲ出シテ和睦ヲ為シタリ○  
「デグソン」在職ノ間ニ「ラハヨ」及ヒ「インガヤナ」ニ

州版圖ニ入ル○千八百十七年ゼームス、モンルー  
マチソンニ代テ大統領トナリモンルー在職ノ間  
ハ無事ニシテ外國トノ戦争ナシ唯、セミノールノ  
土人ト一小戦シタルノミ千八百十九年西班牙人  
東西フロリダノ地及ヒ近傍ノ屬嶋ヲ盡ク合衆國  
ニ附與セリ○モンルー在職ノ間ニ「ミムシッビー」イ  
リノイスアラバマ、ジョージア、ペンシルバニア、  
ニ入ル千八百二十年「ミスソウリ」州ヲ并スル代初  
テ奴隸論ヲ發シ州内ノ南北部ニテ其說齟齬ヒリ  
依テ千八百二十二年議定シテ南方ノ獨立ヲ許シ

西洋事情

卷之三

三



正平年... 西... 卷... 打...  
去テク非シ。アダムス大統領トナリ在職ノ間太  
平ニシテ記マヘキ。ナシテ千八百二十九年アダム  
ス職ヲ去リジャクソン代テ職ニ任ス。此時税法ノ  
ニ付キ南部乱ヲ起シテ千八百三十一年ヨリ翌年

至ルマテ騷乱アリ。此外亞米利加ノ土人ト戦フ  
一ニ度ニシテアルカシス。ミチカシノ二州ヲ合  
衆國ニ并セリ。土人トハ本米ノ亞米利加人種ナリ  
ノ人トコトニ移住スルニ及テ終始シテ後歐羅巴諸邦  
モ唯強勇ナルヲ起スト。雖此土人ト和ヒス。俗野  
陋。唯強勇ナルヲ起スト。雖此土人ト和ヒス。俗野  
歐羅巴人ト強勇ナルヲ起スト。雖此土人ト和ヒス。俗野  
以後尚又海岸ノ地ニハ出ルヲ得ス。時々黨ヲ結  
テ山コリ出テ合衆國内ハ出ルヲ得ス。時々黨ヲ結  
地ヲ侵マシテ合衆國内ハ出ルヲ得ス。時々黨ヲ結  
職ヲ去テマルチン。ス。ブレイン之ニ代ルブ。レ  
ン在職ノ間ニカナダ合衆國ノ北境ニ人乱ヲ  
起シ合衆國ノ人民之ヲ助ケタルニ付キ英亞兩政



西洋事情  
卷之二

府ノ不和ヲ生シテ殆ント戦争ニ及ントセリ千八百四十一年ブーレン職ヲ去リハリソン之ニ代リ  
タレ氏大統領ノ職ニ在ル一月ニシテ死シ副統領  
タイルル次テ大統領トナレリタイレル在職ノ  
間ニ税法ヲ改革シ又チキサス及ヒフロリダノ二  
州ヲ合衆國ニ并セタリ千八百四十五年タイレル  
職ヲ去リビームス、ポルク代テ職ニ任シメキシコ  
合衆國ノ南境ニアル國ノト戦争ニ及ヘリ此戦争  
名此國ニ合衆政治ナリ  
ハチキリス州ヲ合衆國ニ并セタル事件ヨリ起リ  
タル一ニテ陸軍總督テローロル小勢ヲ卒ヒテチキ

サス州ニ赴キメキシコノ國境ニ臨テ不意ノ備ヲ  
為シ千八百四十六年第五月メキシコノ兵ト二戰  
シテ互ニ勝敗アリ其後數度接戦シ終ニブーナーッ  
スタト云ヘル所ニテ大利ヲ得タリ此時敵兵ノ數  
我兵ヨリ多キテ四陪ナリ此勢ニ乘シテメキシコ  
ト條約ヲ結ビカリホルニヤ及新メキシコノ地ヲ  
合衆國ニ并セリ又此時ヨロー井スコンシンノ  
二州モ版圖ニ入りタリ○千八百四十八年ポルク  
職ヲ去リ將軍テローロル後職ニ任ステローロル在職  
ノ間ニカリホルニヤノ地方ニ金礦ヲ發見シ太平

西洋事情  
卷之二



西洋事情 卷之三

洋ノ海岸ヲ開拓シテ新ニ所轄ノ地ヲ廣メリ千八百五十年第七月九日大統領[テ]ロル急病ヲ以テ死シ副統領[モ]ルモール代テ職一任ス[フ]ルモール在職ノ[カ]カリホルニヤヲ定メテ一州トナセリ千八百五十三年[モ]ルモール死シフランキンピールス職ニ任ス即華盛頓ヨリ第十四代ノ大統領ナリ

政治

千七百八十七年議定シタル合衆國ノ政治ハ國民集會シテ國政ヲ議スルノ趣意ニテ國法ヲ議定ス

ルノ權ハ議事院ニアリ議事院ヲ上下二區ニ分チ上院ノ議事官ハ各州ノ評議官ニテ撰擧シテ一州ヨリ二人死ヲ出シ其人數六十二名在職六年ヲ限トス此人數ノ内三分一ヲ二年毎ニ交代セシメ六年ニシテ惣人數一新スルノ割合ナリ之ヲ撰擧スルニ定律アリ年三十歳ニ滿タサル者及ヒ合衆國ノ戶籍ニ入テ九年ヲ經サル者ハ此撰擧ニ當タル可ラス上院ノ議事官ハ人物ヲ撰擧シテ官ニ命シ外國ト條約ヲ結ブ其事ヲ議論シ諸有司ノ過失ヲ論シテ之ヲ廢黜スルノ權アリ○下院ノ議事官

西洋事情 卷之三



ハ各州一般ニ人民ノ撰擧スルモノニテ其人數二百三十三名在職二年ヲ限トス之ヲ舉ルノ法十年毎ニ合衆國內ノ人口ヲ計ヘ其惣數ヲ二百三十三ニ分テ之ヨリ一人宛ヲ出ス千八百五十年ノ人口ハ二千一百七十一萬人アリ之ヲ二百三十三分テ九萬三千百七十トナル故ニ國內ノ人民九萬三千百七十人ノ内ヨリ一人ヲ出スノ割合ナレハ各州人口ノ多寡ニ由テ撰擧ノ數一様ナラス撰擧ノ定律八年二十五歳ニ滿タサル者及ヒ合衆國ノ戶籍ニ入テ七年ヲ經サル者ヲ禁ス下院ノ議事官ハ

諸有司ノ過失ヲ論シテ之ヲ廢黜スルノ權アルハ上院ト同様ニシテ特ニ錢穀ノ權柄ヲ執ル○議事院ノ會同ハ每年第十二月初旬月曜日ヲ以テ例日トス上下院各其議事官ノ内ヨリ一名ヲ推テ上席トナス上院ノ上席ハ即副統領ナリ又國政ノ事柄各異ナルニ從テ兩院共ニ其主役ヲ命ス此主役モ入札ヲ以テ議事官ノ内ヨリ撰擧スルナリ○議事官ノ給料ハ兩院共一人ニ付キ一日ハドルヲト別ニ旅行ノ雜費トシテ二十人毎ニハドルヲト與ヘ兩院ノ上席ハ一日ニ十六ドルヲ與フ○



每事其可否ヲ論シテ既ニ一定スレハ之ヲ一國ノ法律トナシテ國中ニ施行スルノ權ハ大統領ノ手ニ在リ大統領ノ在職ハ四年ヲ限トス其給料一年ニ萬五千ドルナル此撰舉ニ當ル者ハ合衆國ノ産ニシテ年三十五歳ニ滿チ生來本國ニ住居スル十四年ヨリ少ナカル可ラス大統領ノ職掌ハ合衆國海陸軍ノ總都督ニシテ上院ノ議事官ト同議シ外國ト條約ヲ結ヒ文武士官ヲ命スルノ全權アリ又上下院ニテ既ニ議定セル事ニテモ大統領ニ於テ異存アレハ一人ノ特權ヲ以テ之ヲ拒ミ兩院ニ

下シテ再議セシムベシ但シ之ヲ再議シ兩院ノ議事官惣人數ノ内三分ノ二ニテ同意一定スルキハ仮令ヒ大統領ノ免許ナクモ定テ法ト為スヘシ○大統領ノ附屬ノ國老六名アリ第一大閣老第二大閣老ノ出納ヲ司ル執政第三軍務ヲ司ル執政第四海軍ヲ司ル執政第五飛脚場ノ事務ヲ司ル執政第六刑罰ノ事ヲ司ル執政是ナリ其給料一年六千ドルナル在職ノ年限ナシ○右ハ合衆國ノ中心タル華盛頓府ノ政治ナレモ國內一州毎ニ各議事局ヲ設ケ人物ヲ撰舉シテ評議官ヲ命シ一州内ノ政ヲ施ス



ニ於テハ自カラ獨立ノ體裁ヲナセリ但シ外國ト  
條約ヲ結ヒ強償ノ令ヲ出シ非常ノ一國ノ主長  
ヲ渡シ海上ニ於テ敵國ノ船ヲ取押ヘ強ヒテ味方  
ノ損失ヲ償ハシムルコトアリ之ヲ強償ノ令ト云フ  
以下同シ貨幣ヲ造リ銀券ヲ出シ繙紳ノ爵位ヲ許ス等  
ノ權ハ各州ニ禁スル所ナリ

千七百八十七年議定セル合衆國ノ律例

合衆國ノ人民タル余輩我合衆ヲ益固クシ正道ヲ  
行テ國ノ靜穩ヲ謀リ災害ヲ防キ平安ヲ求メ人民  
ノ寬裕ヲナサンタメコ、ニ亞米利加合衆國ノ律  
例ヲ定ルコト左ノ如シ

第一條

第一類 國政ヲ議定スルノ權ハ合衆國ノ議事院ニ在

第二類 議事院ハ上下二區ニ分ツ  
下院ノ議事官ハ國民一般ヨリ撰舉シ國民ノ  
名代人トシテ職ニ在ルコト二年ヲ限トス

○年二十五歳ニ滿チ合衆國ノ戶籍ニ入テ七年  
ヲ經ル者ニ非サレハ此撰舉ニ當タル可ラス  
○諸州ヨリ下院ノ議事官ヲ出サスノ員數ハ分  
頭稅ト同様ノ割合ニテ州民ノ衆寡ニ由テ異  
ナルヘシ諸州人口ノ數ハ此度定議ノ後三年



ノ内、會計シ爾後ハ十年毎ニ一度改計スヘシ  
議事官ノ數ハ州民三萬ニ付キ一人ノ割合ヨ  
リ多クスベカラス但シ一州ヨリ少クトモ必  
ス一人ハ撰舉マベシ

○各州ヨリ撰舉シタル議事官、内、缺員スル  
アレハ其州ヨリ令ヲ出シ不時一人ヲ撰舉シ  
テ其缺位ヲ滿ツヘシ

○下院ノ議事官ハ其官員ノ内ヨリ上席ノ者一  
人及ニ他ノ主役ヲ推舉シ又諸有司ノ過失ヲ  
論シテ之ヲ廢黜スルノ權アル可シ

第 三 類

ニ上院ノ議事官ハ各州ノ評議官ニテ撰舉シテ  
一州ヨリ二人宛ヲ出シ在職六年ヲ限ルヘシ

○此度初テ諸州ヨリ上院ノ議事官ヲ會スル氏  
ハ惣人數ヲ三部ニ分チ第一部ハ二年ノ後ニ  
新員ト交代シ第二部ハ四年ノ後ニ交代シ第  
三部ハ六年ノ後ニ交代シ爾後此順序ニ從テ  
二年毎ニ新員三分一ヲ撰舉シテ舊員ト交代  
セシムヘシ若シ各州ノ議事局休會ノ間ニ上  
院ノ議事官缺員スルヲアレハ其州ヨリ不時  
一人ヲ撰舉シテ其缺位ヲ滿タシ以テ發會ヲ



待ッヘシ

○年三十歳ニ満タス合衆國ノ戸籍ニ入ラ九年ヲ經サル者ハ上院ノ議事官トナルヲ許サス合衆國ノ副統領ハ上院ノ上席ナレバ別ニ特權アルコトナシ

○上院ノ議事官ハ副統領及ヒ他ノ主役ヲ推擧シ又副統領ニテ大統領ノ代任ヲ司ルハ別ニ臨時ノ副統領ヲ推擧スヘシ

○上院ノ議事官ハ諸有司ノ失過ヲ吟味シテ之ヲ廢黜スルノ權アリ大統領ノ過失ヲ吟味ス

ル片ハ裁判役ノ總督之ニ列坐スヘシ都テ吟味ノ片ハ其席ニ列坐セル人數三分ノ二ノ裁斷ニ從フヘシ

○諸有司ノ過失ヲ吟味シテ之ヲ廢黜スト雖モ唯其官爵ヲ褫キ給料ヲ奪フノミニテ在職中ニ刑ヲ加フルコトナシ但シ爵祿ヲ奪フノ後ハ尚又裁判局ニ於テ之ヲ糾問シテ罪ナケレハ之ヲ免シ罪アレハ法律ニ從テ罰スヘシ

類第四 兩院ノ議事官ヲ撰擧スル日限場所等ハ預メ各州ノ評議局ニテ定メ置クト雖モ時宜ニ由



リ 華盛頓府ノ議事院ニテ之ヲ變スルヲアル  
ヘシ

○議事院ノ集會ハ每年第十二月初旬月曜日ヲ  
以テ例日トス但シ時宜ニ由テ他日ニ催ス  
アルヘシ

第五類

兩院ノ議事官ハ其同僚ノ人ヲ撰舉シ或ハ之  
ヲ撰舉スルヲ拒ミ或ハ其人物ヲ議論スルニ  
付キ同説ノ多キニ從テ事ヲ審斷スヘシト雖  
モ異説ノ者ハ直ニ之ト雷同スルヲ要セス法  
ヲ犯スニ至ラサレハ其持論ヲ主張シテ可ナ

リ

○上下兩院各其局内ノ規則ヲ設ケ此規則ニ背  
ク者ハ之ヲ罪ス可シ但シ之ヲ議論スルハ議  
事官惣人數ノ内同説ナルモノ三分ノ二ニ至  
レハ其同説ニ從テ一員ヲ放逐スヘシ

○兩院各日記ヲ作テ院ノ議事ヲ記シ秘密ノ事  
件ニ非サレハ時々之ヲ布告スヘシ

○議事官集會ノ間ハ兩院相互ヒノ承諾アルニ  
非サレハ事ヲ議スルニ三日以上ヲ延引ス可  
ラス又定タル議事院ノ外他所ニ於テ商議ス



西洋事情 卷之二

ルヲ許サス

第六類

兩院ノ議事官ハ合衆國ノ金庫ヨリ給料ヲ受ケ在職ノ間ハ罪アリト雖比直ニ之ヲ捕フルヲ許サス第三類但シ謀反ヲ企ツル者、死罪ヲ犯ス者、國乱ヲ起ス者ハ格外ナリ又議事官ハ其院内ニ於テ何等ノ事ヲ商議シ爭論スルトモ他所ニ於テ之ヲ答ム可ラス

○兩院ノ議事官、在職ノ間、仮令ヒ他ニ給料ノ多キ官職アルトモ轉移スルヲ許サス又他ノ官職ニ在ル者ヲ擢テ議事官ト為スヲモ禁

第七類

賦稅ヲ收ル法令ハ下院ニテ議定ス又シ然レハ上院ニテモ之ヲ參議シテ或ハ改正スルヲ得ヘシ

○都テ法令ノ案文ヲ作り兩院ノ同議ヲ經レハ必ス之ヲ大統領ニ呈シテ可否ヲ質スハシ大統領其案文ヲ見テ同意ナレハ之ニ調印スルキナレハ若シ異存アレハ其異存ノ趣意ヲ述ヘテ之ヲ返スヘシ然ル片ハ初メ此案文ヲ作タル局ニテ別ニ大統領ノ異旨ヲ書記ニ案文

西洋事情 卷之二

三



ニ副テ再議ヲ發ス若シ再議ノ上尙前説ヲ持  
張スル者局内ノ總人數、三分ノ二ニ至レハ此  
局ノ評議ヲ一定シテ更ニ之ヲ彼局ニ送ルヘ  
シ彼局ニテモ再議シテ同意ノ者總人數、三分  
ノ二ナルハ大統領ノ異存ニ關ハラズ定メ  
テ國法トナスヘシ但シ斯ク再議スルハ局  
内ノ總人數ヲシテ逐一其可否ヲ述ヘシ、其  
姓名ヲ日記ニ誌シ置クヘシ○又兩局ヨリ評  
議ヲ建白スルハ大統領十日ノ内ニ其可否ヲ  
決シテ之ヲ下クサレハ兩局ニテハ此建白ヲ

統領ノ調印シタルト同様ノモノニ視做シ之  
ヲ施行シテ國法ト為スヘシ但シ兩院ヨリ一  
度建白スル上ニテ延引ヲ願フハ此例ニテ  
ラス

第八類

- 議事院ノ權ハ左ノ件ヲ取扱フヘシ
- 出入港稅及ヒ國內ノ諸賦稅ヲ集メ國ノ逋債  
ヲ拂ヒ國內ノ防禦ヲ固クシ一般ノ平安ヲ謀  
ル
- 合衆國ノ名ヲ以テ金ヲ借ル可キ事
- 外國ノ通商及ヒ國內諸州并ニ亞米利加土人



- ト、貿易ヲ勉メ其法則ヲ立ル
- 外國人歸化ノ法ヲ平ニスル
- 商人分散ノトニ付キ其法則ヲ正シクスル
- 貨幣ヲ造テ其位ヲ調理シ外國ノ貨幣ト平均スル
- ト并ニ一國ノ度量ヲ正シクスル
- 合衆國ノ貨幣證書ヲ偽作スル者ヲ罰スル法度ヲ立ル
- 飛脚場ヲ設テ驛路通報ヲ便利スル
- 書ヲ著シ事物ヲ發明スル者ハ官許ヲ以テ專賣ノ利ヲ與ヘ文學技藝ヲ進歩セシムル

- 洋中ニ於テ人ヲ殺シ人ノ物ヲ掠奪シ或ハ國內ニテ合衆國ノ法律ヲ犯スモノヲ審斷シテ刑ニ處スル
- 敵國ト戦争ヲ始メ強償ノ令ヲ出シ其他海陸奪掠ノ規則ヲ定ムル
- 師ヲ出シ軍費ヲ集ムル
- ト但シ軍費ヲ集ムルトモ二年ノ用意ヨリ多クス可ラサル
- 軍艦ヲ造リ海軍ヲ養フ
- 海陸軍ノ法則ヲ建ル
- 合衆國ノ法律ヲ施行シ叛賊ヲ壓伏シ敵國ノ



西洋事情 卷之三

侵襲ヲ防クタル郷兵ヲ募ル

○郷兵ヲ教ヘテ令衆國ノ軍役ニ供シ且議事院ニテ定メタル軍律ニ從テ諸州各其士官ヲ命シ郷兵ヲ訓練スル

○諸州ニ城砦ヲ築キ武庫ヲ建テ、海軍ノ造船場ヲ設クル

第九類  
○右ノ諸個條并ニ此度ノ律例ニ定メタル合衆國ノ政權ヲ施行スルタルノ法則ヲ設クル  
外國ヨリ歸化スル者ヲ諸州ニ容ル、片ハ議事院ヨリ之ヲ禁スヘカラス又初テ歸化シ

ル者ハ八十ドル以上ノ賦稅ヲ取ルヘカラス

○大罪アルトモ罰子孫ニ及ハス貨財ヲ没入セス又既往ノ舊惡ヲ糺シテ之ヲ罰スルナカ

ルヘシ  
○分頭稅ヲ收ルニハ必ス先ツ人口ヲ計ヘテ其數ニ準スヘシ

○國內各州ヨリ互ニ貨物ヲ出納スル片稅ヲ取ル可ラス

○貿易并ニ收稅ノ法ニ於テ諸州ノ港ニ偏頗ノ

西洋事情 卷之三

三六



西洋事情 卷之二

處置ヲ為スヘカラス又商船モ必ス某州ヨリ  
某州ニ通ヒ某州ニ於テ稅ヲ拂フヘシト限ラ  
立ヘカラス

○法律ノ許ス所ニ非サレハ金庫ヲ開クヘカラ  
ス且錢穀ノ出納ハ時々之ヲ國中ニ布告スヘ  
シ

○合衆國ニ於テハ縉紳ノ爵位ヲ人ニ與ルヲ禁  
ス又合衆國ノ職祿ヲ受ル者ハ議事院ノ免許  
ヲ待タスシテ外國ノ王公ヨリ俸祿爵位并ニ  
贈物ヲ受ルヲ禁ス

第十類 國內一州ノ權ヲ以テハ外國ト條約ヲ結フヘ  
カラス強償ノ令ヲ出スヘカラス貨幣ヲ造ル  
ヘカラス金銀ノ手形證書ヲ出サスヘカラス

通債ヲ拂フニ金銀貨幣ヲ除クノ外他物ヲ用  
ユヘカラス縉紳ノ爵位ヲ人ニ與フヘカラス

○一州ノ權ヲ以テハ輸出輸入品ノ稅ヲ收納ス  
ルニ唯收納ノ雜費ヲ取ルノミニテ税金ハ精  
密ニ會計シテ合衆國ノ金庫ニ納ムヘシ是等

ノ法則ハ議事院ニテ再校改正スヘシ  
○一州ノ權ヲ以テハ噸稅船ノ入津スルトキ其  
大小ニ從テ收納スル

西洋事情 卷之二



銀稅ヲ取ル可ラス又太平ノ片兵卒ヲ養ヒ軍艦ヲ備フ可ラス此州彼州ト徒黨シ或ハ外國ト約束ヲ結フ可ラス兵ヲ起ス可ラス但シ現在敵ノ龍攻ヲ蒙リ或ハ危急ノ事變有テ猶豫ス可ラサル時ハ此例ニ非ス

第二條

第一類 一定法ヲ施行スルノ權ハ亞米利加合衆國大統領ノ手ニ在リ大統領及ヒ副統領ハ在職四年ヲ限トス之ヲ撰舉スルノ法左ノ如シ  
○大統領及ヒ副統領ヲ人撰スルタメ諸州ニ法

ヲ立テ之ヲ撰舉スル人ヲ命ス其人員ハ上下院ノ議事官ノ數ニ同シ但シ議事官及ヒ其他合衆國ノ職祿ヲ受ル者ハ此員ニ入ルコト得ス

○此撰舉人ヲ命スルノ時節并ニ統領ヲ撰舉スル日ハ議事院ニテ之ヲ定ム但シ其日限ハ合衆國中同日タルヘシ

○合衆國ニ生タル人ニ非サレハ大統領ト為ルヲ得ス又合衆國ノ産ニテモ年三十五歳ニ滿タズ生來十四年ノ間合衆國ニ住居シタル者



西洋事情 卷之二

ニ非リレハ此撰舉ニ當ル可ラス

○大統領不時ニ退職シ或ハ死シ或ハ其職掌ヲ盡ス才徳ナケレハ副統領之ニ代ルヘシ副統領代任シテ亦不時ニ退職シ或ハ死シ或ハ其職掌ヲ盡ス才徳ナケレハ議事院ニテ一人物ヲ撰ク仮ニ大統領ト為シテ次ノ大統領ヲ撰舉スルハヲ待ツヘシ

○大統領ハ例年定式ノ給料ヲ受ケ在職ノ間決シテ其高ヲ増減スルカラズ又在職ノ間ハ給料ノ外ニ諸州ヨリ利潤ヲ受クヘカラス



○大統領職ニ即ク片ハ誓ヲ發ス可シ其詞ニ云ク  
余謹テ誓ヲ發シ余誠實ノ意ヲ以テ合衆國

大統領ノ職掌ヲ遂ケ余カオカヲ盡シテ合衆政治ヲ保護スヘシ

第二類

大統領ハ合衆國海陸軍ノ總都督ニシテ諸州ノ郷兵ヲモ合衆國ノ軍役ニ用ルルハ之ヲ指揮スヘシ又諸局ノ職掌ニ有キ其長官ノ意見ヲ試ルルタノ書札ヲ出サシムヘシ又罪人ヲ刑罰ニ處スルハ其期限ヲ延ハシ或ハ罪ヲ謝ス

西洋事情 卷之二



ル者ヲ赦スノ權アリ但シ諸有司其職掌ヲ謬  
ルノ罪ハ此例ニ非ラス

○大統領ハ上院ノ議事官ト商議シテ議事官ノ  
全員三分ノ二同意スレハ外國ト條約ヲ結フ  
ハシ又上院ノ議事官ト商議シテ外國へ遣差  
スル使節ニストムコンシムル及ヒ上局ノ裁  
判司其外合衆國ノ諸有司ヲ命スルノ權アリ  
但シ卑賤ノ吏人ヲ命スルハ議事院ニ謀ラ  
スシテ大統領ノ獨斷ヲ以テ之ヲ處置シ或ハ  
各局ノ長官ヨリ之ヲ命スルトモ法ニ依ルト

第三類

大統領ハ合衆國內ノ形勢ヲ察シ之ニ應シテ  
施サント欲ル策略ヲ設ケ時々之ヲ議事院ニ  
下タシテ議論セシムヘシ又不時ニ上下兩院  
或ハ一院ノ官員ヲ集メテ事ヲ議スルヲ得ハ  
シ若シ其時ノ衆議一時ニ決シ難キハ獨意  
ヲ以テ期日ヲ延ハシ再ヒ集會セシムルヲ得  
ヘシ○大統領ハ外國ノ使節ニストムルヲ待  
遇スヘシ又法令ヲ施スニ必ス信實アラン  
ヲ注意シ合衆國ノ諸有司ニ委任狀ヲ附與ス



ルノ權アリ

類第四 大統領副統領及ニ其他合衆國ノ諸政官謀反ヲ企テ或ハ賄賂ヲ貪ル等ノ大罪ヲ犯ストキハ上下兩院ノ商議ヲ以テ先ツ其職祿ヲ奪フヘシ

第三條

類第一 合衆國裁判ノ權ハ上下兩局ニ分與シ下局ノ裁判司ハ議事院ヨリ之ヲ命ス上局ノ裁判司ハ院ノ同議ニテ命ス兩局ノ裁判司ハ職ニ在ル者ノリ前ニ出ツル一年定式ノ給料ヲ受ケ此給料

類第二

ハ在職ノ間決シテ減スルコトナカルヘシ  
○此律令ニ定タル規則其他合衆國ノ諸法ヲ論駁シ又外國ノ條約ニ關ハルコトヲ審判ス  
○外國へ遣差スル使節ニニストル「コンシユル」ニ關ハルコトヲ審判ス  
○海軍ノ法則ニ關ハルコトヲ審判ス  
○各州ノ間ニ起ル爭論一州中ノ人々ノ間ニ起ル爭論及ヒ州人ト外國人トノ間ニ起ル爭論ヲ審判ス



○外國、遣差スル使節ヨニストルコノシユルニ  
 關係セル事并ニ一州、黨ヲ結テ起タル争ハ上  
 局ニテ其裁判ノ主役ヲ司ルヘシ其他ノ裁判  
 ハ議事院ノ規則ニ從ヒ上局ハ立合ト為テ越  
 訴ヲ聽クヘシ訴訟ナル者先ツ下局ノ裁判ヲ  
受ケテ之ニ心服セザルハ越  
シテ上局ニ訴フヘシ之ヲ越訴ト云フヘ  
 ○罪人ヲ裁判スルハ其罪ヲ犯タル土地ニ於テ  
 ハヘシ外國ニテ罪ヲ犯シタル者ハ議事院ニ  
 テ法ニ從ヒ其裁判ノ場處ヲ定ムヘシ  
 第三類 謀反ノ名ヲ下クヌ者ハ合衆國ニ敵對シテ兵

ヲ擧ケ或ハ敵國ニ貳心ヲ抱ヒテ敵ヲ助クル  
 者ニ限ルヘシ  
 ○謀反ノ罪ヲ犯スニハ確證ヲ以テ證人ト為ル  
 モノ二人アル歟或ハ裁判局ニ於テ躬カラ白  
 状スルニ非サレハ謀反ノ名ヲ下クス可ラス  
 ○謀反者ヲ刑スルノ權ハ議事院ニ在リ然レド  
 既ニ之ヲ刑スレハ其罪親屬ニ及ハス又貨財  
 ヲ没入スルヲモナカルヘシ  
 第四條  
 第一類 各州ノ法律及ヒ裁判ハ互ニ相信用スヘシ



類第二

一州ノ人民ニ附與スル特恩ハ各州ノ人民ハモ許シテ此彼偏頗スルヲテカスヘシ

○此州ニテ罪ヲ犯シタル者裁判ヲ遁レ他州ニ出奔シテ其住處發露スルハ本州ヨリ之ヲ返サントテ求レハ直ニ之ニ引渡ス可シ

○此州ニテ法律ニ從ヒ人ニ仕役サル者其仕役ヲ遁レテ他州ニ出奔スルハモ前ノ例ニ從フヘシ

類第三

議事院ノ協議ニ由テハ新ニ州ヲ立テ合衆國ノ版圖ニ入ルヘシト雖モ從來諸州ノ界内ニ

州ヲ立テ或ハ二州ヲ合シテ一州ト為ス可ラ

第五條

○爾後議事院ノ全員三分ノ二ニテ説ヲ發シ或ハ諸州評議局ノ内三分ノ二ヨリ建白シテ此度ノ律例ヲ改革セント欲スルハ之カタノ集會ヲ催フス可シ集會ノ時全員四分ノ三其説ニ同意シテ調印スルハ定メテ國律トナシ此律例ト並ニ行フヘシ

第六條



○此度ノ律例ヲ施行スル前ニ借用シタル國ノ  
逋債及ヒ約束ハ此律例ニ從テ同盟シタル合  
衆諸州ノ責トナルヘシ

○此律例並ニ合衆國ノ權ヲ以テ外國ト結フ條  
約ハ一國內無上ノ定律トシテ之ヲ守リ此定  
律ヲ守ルト否トニ由テ各州ノ正非ヲ斷スハ  
シ或ハ此定律各州一個ノ法則ト齟齬スル  
アル比之ヲ顧ルナカルヘシ

○上下兩院ノ議事官各州ノ評議官其他合衆國  
並ニ各州ノ裁判司諸有司、摺ヲ發シテ此律

例ヲ守ルヘシト雖氏人ヲ黜陟スルニ其宗旨  
ヲ論スルナカルヘシ

第七條

○諸州ノ内九州同議シテ此律例ニ調印スレハ  
乃チ之ヲ施行スヘシ

紀元千七百八十七年即合衆國

ノ建國第十二年第九月十七日

諸州ノ同議ヲ以テ之ヲ定ム

大統領沙夕、華盛頓誌

爾後千七百八十九年ヨリ千八百四年マテノ間ニ



西洋事情 卷之三

此律例ヲ増補改正シタル條々左ノ如シ

○宗旨ヲ関クニ付キ議事院ヨリ其法則ヲ立ツルノナク自由ニ之ヲ許スヘシ又事ヲ議論シ或ハ書ヲ著スヲ禁スヘカラス又人民平穩ニ集會シテ政府ニ愁訴スルヲ勝手タルヘシ

○法律ノ寛ナル國ニ於テハ郷兵ヲ養フヲ緊要ナルカ故ニ國民皆武器ヲ貯ヘ武器ヲ携ルヲ許スヘシ  
太平ノ時ハ兵卒ノ家ニ行キ其主人ノ許ヲ待タスシテ之ニ宿ス可ラス但シ戰爭ノ間ハ此例

ニ非ラスト雖亦法ヲ越ユ可ラス

○妄ニ人ヲ捕ヘ或ハ家内ヲ搜索シ或ハ書類ヲ奪ントスル者アルハ人民躬カラ之ヲ防クノ權アルヘシ但シ其搜索スヘキ場處人物及ヒ品物等ニ付キ疑慮スル所ヲ述ヘ摺ヲ發シテ其實情ヲ告ルルハ其搜索ヲ許スヘシ

○罪人ノ吟味ハ其罪ヲ犯シタル土地ニ於テ先ツ罪人ヘ其罪ノ次第ヲ告ケ其證人ト對決セシメ又本人ノ口ニ其無罪ヲ證スル者ヲモ出シテ其說ヲ述ヘシメ速ニ裁判スヘシ

西洋事情

卷之三

三十五



○非常ノ例ヲ以テ罪ヲ赦ス可ラス非常ノ罰金ヲ取ル可ラス又慘酷非常ノ刑ヲ行フヘカラス

○律例中ニ其ハ其ノ權ヲ壓制スヘシトノ趣旨ニ非權ヲ以テ人民ノ權ヲ壓制スヘシトノ趣旨ニ非ラス決シテ之ヲ誤解スルコト勿レ

○大統領及ヒ副統領ヲ撰舉スルノ任ヲ蒙リタル人ハ各一州ノ内ニ會合シテ入札ヲ為スヘシ但シ同州ノ人ヲ撰舉シテ大統領トナシ或ハ副統領トナスコトハ禁制ニ非ラスト雖モ大副二人ノ内一人ハ必ス他州ノ人ヲ撰フヘシ入札ノ法撰

舉人各其意ニ從テ大統領トシ或ハ副統領トセシト欲スル者ノ姓名ヲ札子ニ記ルシテ箱ニ投シ終テ之ヲ開キ其撰舉ニ當ル人ノ姓名並ニ員數ヲ紙ニ書記シ又其一人毎ニ撰舉ヲ受ケタル數ノ多寡ヲ各姓名ノ下ニ記シテ之ニ調印シ密封シテ合衆國ノ政府ニ呈ス政府ニ於テハ上院ノ上席各州ヨリシ呈書ヲ受ケ上下兩院ノ議事官ヲ會シテ之ヲ開封シ逐一點見シテ撰舉ヲ受タル數ノ最多キ者ヲ大統領ト為シ或ハ副統領トナス若シ數人ノ内撰舉ヲ受ルノ數此彼同等



ナルハ上等ヨリ以下三人ヲ擧ケ下院ノ入札  
ヲ以テ三人ノ内ヨリ一人ヲ撰テ大統領トナス  
ヘシ副統領ノ方ハ上等ヨリ以下二人ヲ擧ケ上  
院ノ入札ヲ以テ一人ヲ撰定スヘシ○又律例ニ  
從テ大統領ト為ス可カラサルモノハ亦副統領  
ノ撰擧ニモ當ル可ラス年三十五歳ニ滿タ  
リル等ノヲニ

○合衆國ノ北部ニ於テハ兒童ヲ教育スル小學校  
最多ク其法甚善シ亞米利加政治ノ一美事ト云ヘ  
シ學校ノ費用ハ賦税ヨリ出シ或ハ又別ニ學校ニ  
附屬セル元金ナルモノ有テ年々其金ノ利息ヲ集  
メ州内ノ諸府ニ學童ヲ教育スル員數ニ準シテ之  
ヲ分配ス一都府ノ内ニ必ス小學校一所ヲ設ケ府  
外ニテモ人家アルノ地ハ凡ニ里四方ノ内ニ一所  
ヲ設ケテ往來ノ便利ヲ為ス又一郡毎ニ人物十二  
名ヲ撰擧シ學校ノ知事ト為シテ郡内諸學校ノ事  
務ヲ司ラシム學校ニ入ラントスルモノハ何人ノ



子タルヲ論セス直ニ之ヲ許シ且本人ハ唯書籍ヲ  
買フノミニテ一切他ノ出費ナシ小學校ノ教ハ英  
語ノ初步、算術、地理學等ナリ又都府ハ學校ニハ兼  
テ羅<sup>ラ</sup>甸<sup>ウ</sup>語<sup>ク</sup>希臘<sup>キ</sup>語<sup>ク</sup>ヲモ學ハシム  
大學校ノ教モ甚盛ニシテ其法寬裕ヲ主トセリ大  
學校ハ政府ヨリ建ルモノアリ或ハ私ニ會社ヲ結  
テ設ルモノアリ凡ソ合衆國中、所トシテ此學校  
ラサルハナシ其學科ハ新古語ヲ探索シ文法ヲ學  
ヒ歴史ヲ讀ミ理學、作文學、究理學、修身學等ヲ研究

國中ニテ毎年出板スル新聞紙ノ數凡ソ四億二千  
六百萬葉又歐羅巴諸國ニテ良書ヲ著述スル者  
ハ直ニ其書ヲ再板シテ自國ノ裨益ト為ス  
文學技藝ヲ開クタメ會社ヲ結フモノ甚多ク又各  
處ニ病院貧院等ヲ設テ人ヲ救フノ備ヲ為セリ

海陸軍

○合衆國內ヲ三部ニ分テ陸軍ノ備ヲナス東方ノ  
本陣ハトロイ及ヒ<sup>ニ</sup>ュー<sup>ヨ</sup>ルクニ在リ西方ノ本陣ハ  
<sup>ハ</sup>ニュー<sup>ヨ</sup>ル<sup>ク</sup>リ<sup>ン</sup>スニ在リ太平洋海岸ノ本陣ハ  
<sup>ノ</sup>マ<sup>リ</sup>及ヒカリホルニヤニ在リ千八百五十年ノ常



備兵ハ步兵ハ隊大砲四隊騎兵二隊ニテ惣人數一  
 萬零三百二十人ナリシカ翌年又其數ヲ増シタリ  
 ○陸軍將士一月ノ給料左ノ如シ「マジョール」ゼ子ラ  
 「ル」二百「ドル」ラ「ル」コロ子「ル」七十五「ドル」ラ「ル」カピ  
 テ「ル」四十「ドル」ラ「ル」リユテナシ「ル」二十五乃至三十  
 「ドル」ラ「ル」セルジャント「ル」マジョール「ル」十七「ドル」ラ「ル」コル  
 ポラ「ル」ル「ル」九「ドル」ラ「ル」士卒七「ドル」ラ「ル」都テ陸軍  
 ノ將士ヘハ致仕ノ後扶助ノ給料ヲ與ル「ル」ナシ右  
 ノ如ク陸軍ノ仕役ニハ恩典薄シト雖「ル」固ヨリ怪  
 ムニ是「ル」マ其故ハ合衆國ニ於テハ一旦軍務ヲ辭

スルトモ他ニ仕役ノ路ナキカ故ニ更ニ尋常ノ職  
 業ヲ得ル「ル」容易ナレハナリ○常備兵ノ外郷兵ノ  
 軍籍ニ入ルモ甚多シ千八百四十九年ニ至テハ  
 其數百九十一万四千一百人アリ  
 ○千八百五十年ノ記載ニ據ルニ大小軍艦七十七  
 隻アリ○海軍ノ仕役ニハ恩典厚クシテ其給料モ  
 陸軍ニ比スレハ甚多シ即チ一歳ノ給料次ノ如シ「カ  
 ヲ」テ「ル」二千五百乃至四千五百「ドル」ラ「ル」リユテナ  
 シ「ル」千二百乃至千八百「ドル」ラ「ル」上等醫師一千乃  
 至二千七百「ドル」ラ「ル」下等醫師六百五十乃至千百



五十「ドル」ラ「」舊古士官四百五十乃至七百五十「ドル」測量方七百五十乃至一千百「ドル」ラ「」水夫頭、帆前司等三百六十乃至七百五十「ドル」ラ「」右ノ割合ハ英國海軍ノ給料ヨリモ遙ニ多シ然ルニ亞米利加ノ海軍士官等盡ク此給金ヲ費シテ一錢ヲ餘マズモ「」ナキハ蓋シ亞米利加ニ於テハ英國ヨリモ物價貴ク且其士官他ニ活計ヲ營マスシテ唯給料ノミヲ以テ衣食ノ用ニ供スルカ故ナリ又合衆國ニ於テハ何人「」テモ數年ノ間産業ヲ勉レハヨク獨立シテ他ノ恩澤ヲ蒙ルヲ要セサルニ至ル

ヘキカ故ニ政府ニテモ海軍士官等ヘハ其給料ヲ厚クスルニ非サレハ之ヲ仕役スヘカラサルナリ合衆國ニ海軍ノ造船局七所アリロシントンノ造船局ニテハ專ラ錨、鎖、網具等ヲ製ス

錢貨出納

合衆國歳入ノ主タルモノハ出入港稅、土地ヲ賣却スル代金及ヒ飛脚場ノ稅ナリ千八百三十四年ヨリ千八百四十九年ニ至ルマテ十六年ノ間、土地ヲ賣ル「」共計七千二百四十四萬「」本邦ノ千ニ百十坪余余ニシテ代金九千二百三十八萬二千「」



ルラ此余ヲ得タリ飛脚場ノ税ハ厘カニ其雜費ヲ  
償フニ足ルノミ其他ノ諸賦税モ記スヘキモノナ  
シ千八百五十年錢貨ノ出納左ノ如シ

歳入

三千五百九十五萬二千四百五十六ドルラ

港運上

百七十四萬八千七百十五ドルラ

土地代金

百十五萬六千三百八十二ドルラ

諸運上

總計三千八百六十五萬七千五百六十八ドルラ

歳出

千四百三十七萬四千六百二十九ドルラ

國內定式ノ入用

千百九十七萬三千百十二ドルラ

陸軍ノ入用

七百七十七萬五千四百十ドルラ

海軍ノ入用

三百七十七萬零八百四十五ドルラ

國債ノ利息



總計三千七百八十九萬三千七百五十九「ドル」ラ  
○千八百十二年ヨリ英國ト戰爭シ千八百十五年  
和睦ノ片ニ至テハ國債漸ク増シテ一億五千八百  
七十一萬三千零四十九「ドル」ト為リタレトキ  
八百三十五年盡ク之ヲ拂ヒ尚其後數年ノ間歲入  
ノ余金ヲ積ミ政府ヨリ諸州ヘ貸スニ至レリトキ  
シコトノ戰爭ニ軍用ヲ費シ且和議ノ後「ソ」キシコ  
政府ハ二億一千七百萬「ドル」ヲ與ヘテカタホ  
ルニヤノ地方ヲ買ヒ之ニ由テ又國中ニ金ヲ借り  
千八百四十九年ニ至テ國債ノ總計六千四百七十

萬零六百九十三「ドル」ト為レリ然レトキ此高ハ  
合衆國ノ歲入ニ比スレハ屢ヤノミ  
○合衆國ノ諸州ハ固ヨリ華盛頓府ノ政治ニ從フ  
ト雖レ一州内ノ事ヲ治ムルニ於テハ各別ニ評議  
司ヲ命シ法則ヲ建テ裁判所ヲ設ケ賦稅ヲ收ル等  
全ク獨立ノ體裁ヲ為セリ又水道ヲ掘リ鉄道ヲ造  
クル等其土地ノ工業ヲ起ス片ハ世間一般ヨリ金  
ヲ借ル「華盛頓」ノ政府ニ異ナル「ナシ」千八百五  
十年「ニューヨーク」一州ノ逋債二千四百萬「ドル」  
余、一歲ノ賦稅ヲ收ル「五百五十四萬」「ドル」ト余



ナリト云フ故ニ合衆國ノ經濟ヲ計ルニハ華盛頓  
府ノ出納ニ各州自己ノ出納ヲ合セテ算定セサル  
可ラス

### 荷蘭國

#### 史記

羅馬ノ世ニ當テ「バタヴィヤ」ト唱ル人種荷蘭ノ地  
ニ住居シ好テ戰爭シタルハ紀元前百年ノコナリ  
其頃近傍ノ地ニ在ル「ベルジ」人ハ草昧ノ世ニ於  
テ既ニ貿易ヲ勉メ此風習後世ニ傳テ荷蘭國貿易  
ノ基礎ヲナセリ紀元前九年「レイ」河ト「アイスル」  
湖トノ間ヲ堀テ水道ヲ通シ全國ノ地理ヲ一變シ  
タルハ大土エト云フヘシ其後「バタヴィヤ」人ハ羅  
馬帝國ノ保護ヲ蒙リ羅馬人ニ接シテ國內漸ク開



化ニ進ミ又紀元五百年ノ間ハフランクス佛蘭西ノ始祖  
 ニ屬シ八百年代ノ央ニ至テ佛蘭西ノチャルレマン帝伊多利  
 日耳曼一ノ為ニ押領サレタリシカ此時代ハ封建  
 統ノ國帝ノ風世ニ行ハレテ日耳曼一ノバタフヒヤン人モ再ヒ獨立シ分  
 テ數小國ト為レリ即日耳曼一ノゴルドレス日耳曼一ノグラバント日耳曼一ノ  
 クセンビュルグリムビュルグ日耳曼一ノアントエルブ日耳曼一ノホルラン  
 ド日耳曼一ノセーランド日耳曼一ノソットフエン日耳曼一ノフランデス日耳曼一ノアルトイス日耳曼一ノハ  
 イノート日耳曼一ノナール日耳曼一ノユトレフト日耳曼一ノオーフルアイスル  
 ギロニゲン日耳曼一ノタリースラシド日耳曼一ノノクリン日耳曼一ノ是ナリ之  
 ヲ荷蘭十七州ノ舊地トス右十七小國ノ内日耳曼一ノフラン

テル國ヲ上位ニ定メテ他諸國ノ總督ヲナセシカ  
 千三百年代ニ至リ其君婚姻ノ縁ヲ以テ位ヲビュル  
 ゴンダ家ニ譲リタリ爾後ビュルゴンダ家ノ君モ其  
 例ニ效テ位ヲオーストリヤ家ニ譲リ第五世チャール  
 レスニ至テ十七國ヲ一統シ其太子第二世レリッ  
 ニ國位ヲ傳ヘタリレリッ位ニ即テヨリ苛刺ノ令  
 ヲ下シテ異端ノ宗門ヲ攻メントシ其他種々慘酷  
 ノ政ヲ行ヒタルニ由テ遂ニ人心ヲ失ヒ國內ノ七  
 州謀反シテ別ニ合衆政治ヲ建テレリッ井ルレリッオレリッ侯  
 ヲ推シテ大統領トナセリオラニハレリッ現今レリッ千五百



年代、ラツカ諸島ヲ取テ海外ノ所領ト為シ其地ニ  
産スル胡椒ノ類ヲ諸方ニ貿易シテ獨リ利ヲ專ラ  
ニセリ十六百年代ノ末ニ至テハ荷蘭人ノ貿易盛  
大ヲ極メ九ノ歐羅巴ノ商船半ハ荷蘭ヨリ出ラタ  
リシカ其後屢戦争ヲ起シ且諸國ノ商船漸ク増加  
シテ貿易ヲ勉ルニ及テ荷蘭ノ貿易モ遂ニ其名譽  
ヲ落セリ佛蘭西王第十四世ロイス兵ヲ擧テ荷蘭  
ヲ攻タルバハ荷蘭人皆船ニ乘テ遁逃シ返テ其海  
岸ヲ襲ヒ遂ニ佛蘭西ノ兵ヲ逐テ國ヲ全フスルヲ  
得タリ其後大乱ノ始メナボレオン佛蘭西ニ併セ

ラレ千七百九十五年ヨリ合衆政治ヲ立テ千八百  
六年ニ至テ佛蘭西ヨリ第一世ナボレオンノ弟ロ  
イス、ナボレオンヲ以テ荷蘭王ト為シ四年ヲ經テ  
千八百十年又佛蘭西ヨリ之ヲ廢シテ荷蘭ノ土地  
ヲ全ク佛蘭西帝國ノ版圖ニ入レタリ此時ニ當テ  
荷蘭ノ貿易ハ全ク地ニ落テ海外所領ノ地モ盡ク  
英國ニ奪却サレタリ此時荷蘭ノ國旗ヲ歐セル地  
ハ世界中唯長崎ノ出島ノミ  
ト云フ今ニ至テ荷蘭ノ千八百十四年ナボレオンノ  
軍敗績シテ歐羅巴各國和議ヲ結フニ至テオラニ  
侯第一世ルレハ再ヒ本國ヲ領シ海外所領ノ



地モ二三所ハ舊ニ復スルヲ得タリ千八百廿六年  
各國ノ協議ニ由テオラニ一侯ノ位ヲ進メテ荷蘭  
王ト為シ荷蘭本國並ニ白爾義ヲ一統セリ千八百  
三十年白爾義ノ人、荷蘭ノ政治宗門ニ從フヲ欲セ  
ハシテ亂ヲ起シ別ニ一國ヲ建テリ即今ノ王國白  
爾義ナリ千八百四十年第一世井ルレム國位ヲ其  
太子第二世カレムニ讓リ千八百四十九年第二  
世井ルレム死シ太子第三世井ルレム立ツ今ノ荷  
蘭王ナリ

政治

千七百九十五年荷蘭國佛蘭西ニ併セラル、前  
ハ合衆政治ニテ政ヲ議スルモノヲスターテニセ  
テラリト稱シ其上席ニ立テ國政ヲ施行スルモ  
ノヲスタート、ホウレト稱セリ千五百年代ヨリ千  
七百年代ニ至ルマテ荷蘭ノ貿易盛大ヲ極メ富饒  
ヲ致シタル所以ハ全ク政府ノ趣旨ニテ法律ノ寬  
ナルニ由テナリ此時ニ當テ英佛其他歐羅巴諸國  
ニ於テ宗門又ハ國法ノ議論ニテ内亂ヲ生シ互ニ  
相侵伐ニテ國民皆其慘毒ヲ蒙リタルニ荷蘭ハ獨  
リ此機會ニ乘シテ巧ニ法ヲ設ケ各國ヨリ救逐セ



西洋事情 卷之三

レ或ハ亂ヲ避テ出奔スルモノヲ盡ク國內ニ納レ  
法律ヲ寬ニシテ之ヲ待遇シオカアルモノハ厚ク  
之ヲ用ヒ或ハ又海外所領ノ地ニ人ヲ移シ南北僻  
遠ノ地ハ其地ニ移住セル人々ノ意ニ從テ自由ニ  
之ヲ開拓セシメノ絶テ政府ノ規律ヲ立ラス都ラ訴  
訟ノ一アルハ偏頗ナク速ニ裁斷シ賦稅ハ輕カラ  
スト雖氏錢穀然ニ納ラ正シクテ偽詐ヲ交ユル  
一ナシ石ノ如ク荷蘭ノ政治ハ都ラ實際ニ近ツイ  
テ事ヲ為シ國律ヲ寬ニシテ宗門ノ議論ヲ為サス  
工業ヲ勉メ國用ヲ節シ數百年ノ繁盛ヲ為セリ○

方今荷蘭國ハ立君定律ノ政治ト為テ國位ヲ血統  
ノ子孫ニ傳ヘリ王家ハ即チオラニ一姓ニテ荷蘭  
獨立ノ始祖ナリ日耳曼ニアル荷蘭ノ所領リユクセ  
ンビュルグハ復列國ノ盟約日耳曼ノ中ニ大小  
三十八國アリ何レ  
モ獨立ナレド五條約ヲ結テ日耳曼全國ニ加ハ  
テ保護ス之ヲ日耳曼列國ノ盟約ト云フニ加ハ  
ルカ故ニ荷蘭王此盟約ニ關係スル代ハリユクセン  
ビュルグノ上公ト稱スリユクセンビュルグハ元來公位  
ノ國ナルヲ荷蘭國ヨリ支配  
スルカ故ニ荷蘭國王○國王ハ罪アリト雖氏其身  
ハ其父位ヲ兼ルナリ  
ニ刑罰ヲ加フ可ラス國內治乱ノ責ニ任スルモノ  
ハ事務執政ナリ文武士官ヲ命シ法ヲ施行行ハ師ヲ

西洋事情 卷之三



起シ和ヲ議シ海外所領ノ地ヲ支配スルヲ權柄ハ  
國王ノ手ニ在リ議事官ハ上下二局ニ分レ毎年會  
同シテ國事ヲ議ス上局ノ官員四十乃至六十人國  
王ヨリ命スルモノニテ終身職ニ在リ在職ノ間ハ  
旅行ノ雜費トシテ政府ヨリ毎年八百「ドル」ヲ  
受ク但シ年四十歳ニ滿タサルモノハ用ユ可ラス  
下局ノ官員亦然五人諸州ノ人民ヨリ撰擧スルモ  
ノナリ即チ「ホルランド」ヨリ二十二人「ブラバント」  
ヨリ七人「ゴルドラン」ヨリ六人「フリースラン」  
「ヨリ五人「オーステル、アイスル」及ヒ「ゴロニンゲン」

ヨリ各四人「ゼーランド」及ヒ「ユトレフ」ヨリ各三  
人「レント」ヨリ一人ヲ出ス但シ「リユクセン」ミユルダ  
ニハ別ニ議事集會アリ○下局ノ議事官ハ年々其  
全員ノ内三分ノ一ヲ交代セシメ三年ニシテ一新ス  
之ヲ撰擧スルニ人民ノ望ヲ屬スルモノヲ擧ケテ  
直ニ用ユルニ非ラヌシテ種々次第ヲ重ヌルカ故  
ニ其法或ハ公平ナラサル「トアリ先ツ一邑ニ於テ  
賦稅ヲ納ル「ト多キ者相集テ若干ノ人員ヲ撰擧  
之ヲ「キースル」撰擧ト名ツケ此「キースル」ヲシテ  
其邑ノ評議司ヲ撰擧セシム評議司ハ終身職ニ在



ルモノニテ其意ニ從テ邑人ヲ撰擧シ之カ名代人  
ト稱シ一州ノ都府ニ遣テ州内ノ事ヲ議セシム即  
チ毎年下局ノ議事官ヲ撰擧スルモノハ此名代人  
トリ○上下兩局ノ議事官ハ國內ノ賦稅ヲ收ルノ  
權アリ但シ英國ノ如ク毎年錢穀ノ出納ヲ商議算  
定セスシテ十年毎ニ一度會計ヲ為ス蓋シ煩勞ヲ  
省クノ爲トリ○此事ニ付キ種々不平ノ議論  
ヲ生スルカ故ニ遂ニハ法ヲ改革スルヲ下ルヘシ  
○荷蘭ニ於テハ人ヲ用ルニ其宗門ヲ問フヲナシ  
英國ニテハ然ラズ國事ヲ議スル宗門ノ人ニ限ル

○荷蘭國ハ元ト歐羅巴文明ノ中心トモ云フヘキ  
舊地ナルニ其名譽世上ニ轟カサル所以ハ文學ノ  
教周ク國中ニ達シテ貴賤ノ別ナク皆之ヲ研究シ  
却テ拔群ノ名ヲ得ルモノナキノミニテ其實ハ博  
識實學ノ人物甚多シ千八百五十一年國中學校  
ノ數三十二百九十五所之ニ出入スル學童三十六  
萬一千零十五人ヨリ荷蘭全國ノ人口ヲ三百七十  
六萬七千六百七十一人トシ其内年五歳ヨリ十五  
歳ノ兒童ハ凡七十萬ナレハ全國ノ兒童過半ハ小  
學校ニ入ルノ割合ナリ此外大學校ニ甚多ク殊ニ



西洋事情 卷之三

校ハ最モ盛ナルモ、ニテ學生一千百十九人アリ

海陸軍

千八百五十四年陸軍ノ全員五萬七千九百五十九人此内士官千六百六十九名大砲隊ノ人數一萬零九百九十四人アリ  
軍艦ハ大小百四十艘之ニ備ル大砲二千百七十四門士官水夫ノ全員六千七百六十人外ニ海軍士卒千五百八十八人アリ分テ二隊ト為セリ

錢貨出納

千八百五十四年荷蘭ノ歲入一千七百九十五萬八千四百三十八ドルラレナリ右ノ内

分頭稅 分頭稅ハ地稅家稅等ノ如ク定リタ  
製造物ヲ運送シ物ノ賣買ハ其品物ヲ用ユル  
運上ノ物ヲ運送シ物ノ賣買ハ其品物ヲ用ユル  
別段ニ運上ノ物ヲ運送シ物ノ賣買ハ其品物ヲ用ユル  
兩標ノ區別ヲ西岸ニテハチレク止メ  
云フト

四百九十萬零四千八百二十四ドルラレ  
港運上

西洋事情 卷之三



卷之二

一百十八萬千九百十五ドル

船ノ運上

三十三萬七千五百ドル

飛脚印

二百四十五萬ドル

海外所領ノ地ヨリ別段ノ運上

一百十七萬五千ドル

海外所領支配ノ元金

右ノ外略

同年ノ歳出一千七百六十七萬五千九百二十八ドル

ラトルナリ右ノ内

二百六十萬ドル

陸軍ノ入用

百四十一萬三千七百五十ドル

海軍ノ入用

九百零五萬二千三百七十一ドル

國債ノ利息

右ノ外略

同年荷蘭ノ國債三億零零二十四萬七千零七十五

ドル



西洋事情

卷之二

西洋事情卷之二

終



